

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

細径スコープを用いた経口上部消化管内視鏡検査における苦痛軽減に関する単施設前向き研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学病院 消化器内科 (研究責任者) 岩男 彩

<研究期間>

承認日 ~ 令和 5 (西暦 2023) 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

細径スコープを用いた経鼻内視鏡検査は、通常の経口内視鏡検査と比較して、苦痛が少なく安全に行えるとされています。一方で、鼻腔を通過する際に痛みを感じ、時として鼻出血を起こすことがあります。最新の細径スコープは、画質と操作のしやすさが向上し、先端径も細くなっています。この細いスコープを用いた経口内視鏡検査は、従来の経口内視鏡検査よりも苦痛が軽減されることが予測されます。もちろん経鼻内視鏡検査と違って鼻出血を起こすことはなく、複雑な鼻麻酔の手間も必要ありません。この研究の目的は、実際に検査を受けられる方の意見を伺い、より細いスコープを用いた経口内視鏡検査で苦痛が軽減されるかを確認することです。本研究の成果によって、今後の検査実施体制を整える上で役立つ可能性があります。また、患者さんが内視鏡検査を受ける際に、それぞれに合った内視鏡検査手段を選ぶ手助けになる可能性があります。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録より、年齢、性別、内視鏡画像、病理検査の情報を使用いたします。
また、内視鏡検査に関するアンケートに記載いただきます。

<対象となる方>

西暦 2022 年 3 月 1 日～西暦 2023 年 3 月 31 日の期間に上部消化管内視鏡検査を受けられる方で、過去に非鎮静下の経口内視鏡検査を受けた経験がある方。

<研究の方法>

通常の経口内視鏡検査と同様に、咽頭麻酔をしていただき、その後、細径スコープを用いた経口上部内視鏡検査を受けていただきます。検査の前後で、アンケート用紙に検査の苦痛度などの必要事項を記入していただきます。

<お問い合わせ窓口>

日本大学病院 (東京都千代田区神田駿河台 1-6)

消化器内科 氏名：岩男 彩

電話：03-3293-1711 内線：(医局) 5660 (PHS) 5670